

別表2

(2021-4回)

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">1</td></tr> <tr><td>書名</td><td>おじさんのぼうしはどこいった？</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>ぶん ジョアン・L・ノドセット やく やすだふゆこ え フリッツ・シーベル</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>出版ワークス</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年9月</td></tr> </table>	1		書名	おじさんのぼうしはどこいった？	著者等	ぶん ジョアン・L・ノドセット やく やすだふゆこ え フリッツ・シーベル	出版社	出版ワークス	定価	1,600	対象	幼児～小学校低学年	発行	2021年9月	<p>農場のおじさんは、古くて茶色い麦わら帽子が大のお気に入り。ところがある日、お気に入りの麦わら帽子が強い風に飛ばされ、見失ってしまった。おじさんは納屋の中を探したり、鳥小屋を探すが見つからない。リスに尋ねると「まるくて茶色い鳥なら見ましたよ」、ネズミは丸くて茶色い巣穴は見た、ハエは丸くて茶色い山なら見た、ヤギは丸くて茶色い鉢植えならと教えてくれて…。帽子の行方を追う素朴なお話の展開に、やわらかなタッチで描かれた表情たっぷりの線画がぴったりあった楽しい絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
1																
書名	おじさんのぼうしはどこいった？															
著者等	ぶん ジョアン・L・ノドセット やく やすだふゆこ え フリッツ・シーベル															
出版社	出版ワークス															
定価	1,600															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2021年9月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>書名</td><td>オノモロンボンガ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>再話 アルベナ・イヴァノヴィッチ=レア 訳 さくまゆみこ 絵 ニコラ・トレーヴ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>光村教育図書</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年9月</td></tr> </table>	2		書名	オノモロンボンガ	著者等	再話 アルベナ・イヴァノヴィッチ=レア 訳 さくまゆみこ 絵 ニコラ・トレーヴ	出版社	光村教育図書	定価	1,400	対象	幼児～小学校低学年	発行	2021年9月	<p>ずっとずっと昔、動物たちは川のほとりで、みんな仲良く暮らしていた。ところがある年、雨がまったく降らなくなり、大地はかちかちに乾いてしまい、動物たちはこの日照りに苦しんでいた…。ある晩、カメはいろいろな実がおいしそうになっている魔法の木の夢を見る。次の日、カメは何でも知っているおばあさんに夢の話をし、その木の名「オノモロンボンガ」をいけば実をもらえると教えられ…。アフリカに伝わる果物の由来を、ブルガリア出身の作家が再話、仏人画家による洒落た味わいの挿絵も魅力な一冊。</p> <p>(分類番号 726)</p>
2																
書名	オノモロンボンガ															
著者等	再話 アルベナ・イヴァノヴィッチ=レア 訳 さくまゆみこ 絵 ニコラ・トレーヴ															
出版社	光村教育図書															
定価	1,400															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2021年9月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">3</td></tr> <tr><td>書名</td><td>子育てがんばる、カメムシのおかあさん</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>写真と文 新開孝</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>小学館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年～高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年7月</td></tr> </table>	3		書名	子育てがんばる、カメムシのおかあさん	著者等	写真と文 新開孝	出版社	小学館	定価	1,300	対象	小学校低学年～高学年	発行	2021年7月	<p>九州と沖縄のみに生息する、真っ赤な姿のベニツチカメムシ。冬越しから目覚めて、ボロボロノキの近くの樹本に集まった大小いくつものベニツチカメムシの集団。5月の半ばごろになると、この集団はばらばらになり、活発に歩き回るようになってボロボロノキの実や葉の汁を吸って成長していく…。当地だけに生えている高木、ボロボロノキ。雌はその地面で子育てをする。体重の1.5倍もあるボロボロノキの実を体の下にかかえ運び、幼虫に与える姿が印象的。ベニツチカメムシの生態を、接写写真で見せる科学絵本。</p> <p>(分類番号 486)</p>
3																
書名	子育てがんばる、カメムシのおかあさん															
著者等	写真と文 新開孝															
出版社	小学館															
定価	1,300															
対象	小学校低学年～高学年															
発行	2021年7月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">4</td></tr> <tr><td>書名</td><td>おばあさんとトラ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 ヤン・ユツテ 訳 西村由美 絵 ヤン・ユツテ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>徳間書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年12月</td></tr> </table>	4		書名	おばあさんとトラ	著者等	作 ヤン・ユツテ 訳 西村由美 絵 ヤン・ユツテ	出版社	徳間書店	定価	2,000	対象	幼児～小学校低学年	発行	2021年12月	<p>一人暮らしのヨセフィーンおばあさんは、散歩が大好き。ある日、雪の森をいつものように散歩していたおばあさんは、トラと出会いびっくり。でもトラはすぐにおばあさんにすり寄りついてきたので、家に連れて帰り一緒に暮らすことにした。やがてトラは町中の人気者になり、絵かきさんのモデルになったり、子どもたちを背中にのせてやったり大忙し。ところがある晩、トラの様子が変わることに気づいたおばあさんは…。画面いっぱい描かれた表情ゆたかな絵が、お話の楽しさを盛り上げている。</p> <p>(分類番号 726)</p>
4																
書名	おばあさんとトラ															
著者等	作 ヤン・ユツテ 訳 西村由美 絵 ヤン・ユツテ															
出版社	徳間書店															
定価	2,000															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2021年12月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">5</td></tr> <tr><td>書名</td><td>タンポポのたね どうしてとんでいくの？</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>ぶん かんちくたかこ 監修 多田多恵子 え ごとうまきこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>文一総合出版</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年8月</td></tr> </table>	5		書名	タンポポのたね どうしてとんでいくの？	著者等	ぶん かんちくたかこ 監修 多田多恵子 え ごとうまきこ	出版社	文一総合出版	定価	1,600	対象	幼児～小学校低学年	発行	2021年8月	<p>ふーつとふくと、白いふわふわ、飛んでいくよ。これはタンポポのわた毛…。わた毛の下には茶色の種がついていて、風によって一緒に飛んでいく。タンポポのわた毛のように風にのる種はアザミ、チガヤなど他にもたくさん。モミジの実のプロペラのような羽をもっていて、くるくる回って遠くまで飛んでいく。自分の力で種を飛ばすタネツケバナ。雨の日を待っている種もある。他にもスミレ、どんぐりにココヤシ…。形も大きさもいろいろな21種の種が広く散るための仕掛けを伝える科学絵本。絵はシンプルだが特徴を捉え親しみやすい。</p> <p>(分類番号 471)</p>
5																
書名	タンポポのたね どうしてとんでいくの？															
著者等	ぶん かんちくたかこ 監修 多田多恵子 え ごとうまきこ															
出版社	文一総合出版															
定価	1,600															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2021年8月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>からっぽになったキャンディのはこのおはなし</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 大久保雨咲 絵 出口かずみ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>小峰書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年～中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年10月</td></tr> </table>	6		書名	からっぽになったキャンディのはこのおはなし	著者等	作 大久保雨咲 絵 出口かずみ	出版社	小峰書店	定価	1,200	対象	小学校低学年～中学年	発行	2021年10月	<p>そらくんの家にやってきたキャンディーの箱は、キャンディーがなくなってしまうとからっぽになり、不安になった。そらくんの部屋の本棚におかれて、中身が詰まった本たちの話を聞き、ますます不安になる。ところが、そらくんは箱に、ひろってきた貝がらや種などを入れて、箱はそれらとだんだんかよよしくなっていく。しかし、みんながいつかまたどこかへいってしまうのではと不安になる。そらくんの宝物たちの話や他の箱たちの話も聞くうち、箱も自分の話をするようになる。自分にも中身があることがわかり、しあわせな気持ちになる箱の物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
6																
書名	からっぽになったキャンディのはこのおはなし															
著者等	作 大久保雨咲 絵 出口かずみ															
出版社	小峰書店															
定価	1,200															
対象	小学校低学年～中学年															
発行	2021年10月															

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">7</td></tr> <tr><td>書名</td><td>しんぱいなことがありすぎます!</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 工藤純子 絵 吉田尚令</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>金の星社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年11月</td></tr> </table>	7		書名	しんぱいなことがありすぎます!	著者等	作 工藤純子 絵 吉田尚令	出版社	金の星社	定価	1,200	対象	小学校低学年	発行	2021年11月	<p>ももは一年生になってから一度もわすれものをしたことがない。教科書をわすれてないでいた友だちののを見てたりして、そうになったら心配でいっぱいになり、学校で使うものを全部もっていく。そして、同じクラスのかずまくんに「ヤドカリ」みたいといわれる。かずまくんは使うものをみんな学校においてくるというのに、わすれものナンバーワンだ。わすれものをして、気にしない。かずまくんみたいにわらってみると心配なことがふきとんでいく。心配で心がいっぱいの女の子が、大らかな男の子によって心を軽くしていく物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
7																
書名	しんぱいなことがありすぎます!															
著者等	作 工藤純子 絵 吉田尚令															
出版社	金の星社															
定価	1,200															
対象	小学校低学年															
発行	2021年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">8</td></tr> <tr><td>書名</td><td>オンボロやしきの人形たち</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 フランシス・ホジソン・パーネット 訳 尾崎愛子 絵 平澤朋子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>徳間書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年～高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年10月</td></tr> </table>	8		書名	オンボロやしきの人形たち	著者等	作 フランシス・ホジソン・パーネット 訳 尾崎愛子 絵 平澤朋子	出版社	徳間書店	定価	1,400	対象	小学校中学年～高学年	発行	2021年10月	<p>シンシアの子ども部屋には「オンボロやしき」とよばれる古い人形の家があった。6人の人形もみんなぼろぼろだったが、陽気に楽しく暮っていた。ある日子ども部屋にぴかぴかの人形の家とりっぱな貴族の人形たちがやってきて、オンボロやしきは部屋のすみにおかれる。オンボロやしきの人形たちは新しい人形たちの様子を見て楽しくすごし、こまれば助けてやる。燃やされそうになると妖精の女王がひそかに助けてくれる。どん底の状況でも笑い飛ばせば助けてくれるものがあると、陽気であることの大切を感じさせてくれるファンタジー。</p> <p>(分類番号 933)</p>
8																
書名	オンボロやしきの人形たち															
著者等	作 フランシス・ホジソン・パーネット 訳 尾崎愛子 絵 平澤朋子															
出版社	徳間書店															
定価	1,400															
対象	小学校中学年～高学年															
発行	2021年10月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">9</td></tr> <tr><td>書名</td><td>飛べないハトを見つけた日から</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 クリス・ダレーシー 訳 相良倫子 絵 東郷なりさ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>徳間書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年～中学生</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年11月</td></tr> </table>	9		書名	飛べないハトを見つけた日から	著者等	作 クリス・ダレーシー 訳 相良倫子 絵 東郷なりさ	出版社	徳間書店	定価	1,600	対象	小学校高学年～中学生	発行	2021年11月	<p>12歳のダリルは公園で、つばさが折れてとべないハトを見つける。足にはリングがついていてレース鳩らしいことがわかる。近所でレース鳩を飼育するダッキンズさんに相談して元の飼い主に連絡がとれ、ケガをしたハトはいらないことを確認する。両親を説き伏せ、小屋を用意し、ハトの生態を調べ、ダリルは熱心にいろいろなことに取り組み始める。元の飼い主の息子にいじめられるが、勇気を出す。そして、ついにレースに出ることになる。一羽のハトとの出会いから、自分の中にあるエネルギーがわいて、自分の世界を広げていく少年の物語。</p> <p>(分類番号 933)</p>
9																
書名	飛べないハトを見つけた日から															
著者等	作 クリス・ダレーシー 訳 相良倫子 絵 東郷なりさ															
出版社	徳間書店															
定価	1,600															
対象	小学校高学年～中学生															
発行	2021年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">10</td></tr> <tr><td>書名</td><td>飛べ! 遺伝子を超えて</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 森川成美 絵 森川泉</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>国土社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年11月</td></tr> </table>	10		書名	飛べ! 遺伝子を超えて	著者等	作 森川成美 絵 森川泉	出版社	国土社	定価	1,400	対象	小学校高学年～	発行	2021年11月	<p>6年生の紗矢は中学受験を目指して塾に通っている。紗矢とそっくりな亜麻里が転校してきて、ダンスの練習をいっしょにするようになり、仲良くなる。亜麻里の母親は大学で教える研究者でシングルマザー。家は本でいっぱいテレビやゲームもない。亜麻里は学校の友だちと話が合わないこと、父親がだれなのか知らないことを不満に思っている。そして母に思いをぶつける。紗矢も自分で生きていける資格を取れるよう勉強することは母の価値観だと気づき、中学受験をやめる。親の価値観を越えて、自分の道を探そうとする少女たちの物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
10																
書名	飛べ! 遺伝子を超えて															
著者等	作 森川成美 絵 森川泉															
出版社	国土社															
定価	1,400															
対象	小学校高学年～															
発行	2021年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">11</td></tr> <tr><td>書名</td><td>わたしのアメリカンドリーム</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 ケリー・ヤン 訳 田中奈津子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>講談社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年1月</td></tr> </table>	11		書名	わたしのアメリカンドリーム	著者等	作 ケリー・ヤン 訳 田中奈津子	出版社	講談社	定価	1,600	対象	中学生～	発行	2022年1月	<p>ミアは中国から両親とともにアメリカにきた移民の子だ。アメリカに行けば裕富になれると信じてやってきたが、それは幻想だった。厳しい移民の事情、有色人種への偏見や差別。ロサンゼルスでやっと見つけた住みこみのモーテルで、ミアも両親を助けて受け付けを手伝う。意地悪な雇い主は搾取を狙っているし、学校ではその息子と同じクラスでいろいろと最悪だが、ミアは驚くべき知恵と勇気と仲間への思いやりをもって乗りこえ、ラストには、あっと驚く方法でアメリカンドリームを手に入れるのだ。作者自身の体験をもとに、厳しい状況を明るくユーモアで包んで描いたこの物語には、愛こそがみんなを幸せにするのだというメッセージが込められている。読めばきっと元気が出る物語。</p> <p>(分類番号 933)</p>
11																
書名	わたしのアメリカンドリーム															
著者等	作 ケリー・ヤン 訳 田中奈津子															
出版社	講談社															
定価	1,600															
対象	中学生～															
発行	2022年1月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">12</td></tr> <tr><td>書名</td><td>シリアからきたバレリーナ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 キャサリン・ブルートン 訳 尾崎愛子 絵 平澤朋子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>偕成社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年2月</td></tr> </table>	12		書名	シリアからきたバレリーナ	著者等	作 キャサリン・ブルートン 訳 尾崎愛子 絵 平澤朋子	出版社	偕成社	定価	1,500	対象	中学生～	発行	2022年2月	<p>シリアのアレッポで生まれ、友達と遊び、バレエを習う幸せな暮らしをしていたアーヤ。だが、内戦で町は破壊され、親しい人が命を落とす状況に、父母と小さな弟と四人でシリアを脱出することになる。やっとイギリスに着くが、途中の海で父とはぐれてしまい、母は失意から心身を病み、少し英語が話せる11歳のアーヤが生活を支えるしかなくなる。難民に対する支援の状況は厳しく、絶望しかけていたアーヤだったが、大好きだったバレエと再び出会い、人の温かさによって助けられ、新しい生活に希望を見出していくまでを描いた物語。イギリスでの暮らしとシリアから逃れる多難な旅が交互に語られる。「助けを必要としている人に心を閉ざそうとする人こそ恥を知るべき」と語るバレエの先生の言葉に、物語を超えて読者の意識が問われているように思う。</p> <p>(分類番号 933)</p>
12																
書名	シリアからきたバレリーナ															
著者等	作 キャサリン・ブルートン 訳 尾崎愛子 絵 平澤朋子															
出版社	偕成社															
定価	1,500															
対象	中学生～															
発行	2022年2月															

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">13</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>家族セッション</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 辻みゆき</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年7月</td> </tr> </table>	13		書名	家族セッション	著者等	著 辻みゆき	出版社	講談社	定価	1,400	対象	中学生～	発行	2021年7月	<p>千鈴はごく平均的な四人家族の長女、姫乃は裕福な家庭のお嬢様、菜種は母親の違う兄弟と音楽をやっている父と暮らす子だ。この三人は実は13年前、産院で悪意あるいたずらによって取り換えられていたのだが、そのことが明らかになった時、三人は中学の同級生だった。親たちは「あるはずだったわが子の人生」を取り戻すべきと考え、本当の家庭にホームステイすることを提案するが、三人はその思惑を阻止するために、ある計画を練る。だが、何度かホームステイする中で見えてきたのは、互いの家庭、これまでの家庭、そして自分自身の姿だった。セッションとは「周りの音をよく聞いて、全体の雰囲気に合わせてながら自分の音を出す」こと、家族とのセッションとは……と改めて考えさせられる物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
13																
書名	家族セッション															
著者等	著 辻みゆき															
出版社	講談社															
定価	1,400															
対象	中学生～															
発行	2021年7月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">14</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ぼくらの感染症サバイバル</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 香西 豊子/監修</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>いろは出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年12月</td> </tr> </table>	14		書名	ぼくらの感染症サバイバル	著者等	著 香西 豊子/監修	出版社	いろは出版	定価	1,500	対象	小学校高学年～	発行	2021年12月	<p>世界各地で、外国との交易などにより新しい感染症が広がり、大きな犠牲を出すという歴史は繰り返されてきた。日本でも疫病大流行の記録は多い。奈良時代には天皇が寺院を作り祈った。江戸時代には様々な療法が出てくる。明治時代には、公衆衛生の考え方が広まった。本書では、中学生の一花が未来から来たオガタと歴史を旅して過去の感染症とサバイバルを知るストーリーが漫画で描かれ、それぞれの時代の感染症の知識や感染症と戦ってきた人々の歴史がわかりやすく解説される。いつの時代も人々は困難な状況を乗り越え、生き抜いてきたことを改めて知り、勇気がわいてくる。いまだ新型コロナウイルスの大規模な流行が続く今こそ読みたい一冊。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 493)</p>
14																
書名	ぼくらの感染症サバイバル															
著者等	著 香西 豊子/監修															
出版社	いろは出版															
定価	1,500															
対象	小学校高学年～															
発行	2021年12月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">15</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>世界一やさしい依存症入門</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 松本俊彦</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>河出書房新社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,420</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年8月</td> </tr> </table>	15		書名	世界一やさしい依存症入門	著者等	著 松本俊彦	出版社	河出書房新社	定価	1,420	対象	中学生～	発行	2021年8月	<p>薬物依存、アルコール依存、自傷行為依存から買い物依存まで、精神科医として多くの症例を見てきた筆者が実例とともに解説する入門書。依存症の実態、原因、治療についてやさしく解説されている。依存症は「規制するだけでは解決しない」「誰にだって起こりうる」という筆者、多くは「人とのゆがんだ関係の苦しみ」「ありのままの自分の否定」に原因があり、一時しのぎの特定の行為がコントロールできなくなってしまった状態だということ。だから誰かが苦しみに寄り添い、自己肯定感を高めることこそ、依存症が回復する道だというメッセージが詰まったこの本で、依存症のイメージが変わる。十代から大人まで多くの人に薦めたい。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 493)</p>
15																
書名	世界一やさしい依存症入門															
著者等	著 松本俊彦															
出版社	河出書房新社															
定価	1,420															
対象	中学生～															
発行	2021年8月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">16</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ペイント</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 イヒヨン 訳 小山内園子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>イースト・プレス</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年11月</td> </tr> </table>	16		書名	ペイント	著者等	著 イヒヨン 訳 小山内園子	出版社	イースト・プレス	定価	1,500	対象	高校生～	発行	2021年11月	<p>子どもを産みながら、育てながら近未来の韓国では少子化が限界を超えていた。国は子供を養育するNC(ナショナルチルドレン)センターを設立し、13歳以上の子どもは養父母候補と面接(=ペイント)して自分の意志で親を選ぶことができた。主人公のジュヌ301は17歳の少年。20歳の強制退所が目前だが、面接相手に透けて見える下心に嫌気がさし、いまだに里親を決めかねていた。実の親に育てられても親子関係がうまくいくとは限らない現状や、センター出身というレッテルで差別しようとする世間の風潮などの問題と対峙しながら、ジュヌは求める未来を探し決断を下す。現代の家族や差別社会にも通じる物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 929)</p>
16																
書名	ペイント															
著者等	著 イヒヨン 訳 小山内園子															
出版社	イースト・プレス															
定価	1,500															
対象	高校生～															
発行	2021年11月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">17</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ブラザーズ・ブラジャー</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 佐原ひかり</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>河出書房新社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,520</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年6月</td> </tr> </table>	17		書名	ブラザーズ・ブラジャー	著者等	著 佐原ひかり	出版社	河出書房新社	定価	1,520	対象	高校生～	発行	2021年6月	<p>高校一年生のちぐさは、最近父が再婚し、新しい母の瞳子さんと中学二年生の弟晴彦と一緒に暮らし始めた。慣れない雰囲気の中、間違えて開けてしまったドアの先に、ブラジャーをつけている晴彦を見つけた。おどろくちぐさに、晴彦はLGBTでも性癖でもなくファッションとして、ブラジャーがおしゃれなことを主張する。今まで父子家庭で、かわいい下着を買うことにも躊躇していたちぐさは、晴彦と一緒に買い物に行きたくてお願いする。しかし、日曜日に訪れたショッピングモールの下着屋で、友達にその姿を見られたちぐさは、とっさに晴彦のことを妹とやって彼を傷つけてしまう。理解も共感も半端にはできないけれど仲良くなりた。相手を知り、新たな関係を築いていく姉弟の物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
17																
書名	ブラザーズ・ブラジャー															
著者等	著 佐原ひかり															
出版社	河出書房新社															
定価	1,520															
対象	高校生～															
発行	2021年6月															

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">18</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>蛸と月の真ん中で</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 河邊徹</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ポプラ社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1600円</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年10月</td> </tr> </table>	18		書名	蛸と月の真ん中で	著者等	著 河邊徹	出版社	ポプラ社	定価	1600円	対象	高校生～	発行	2021年10月	<p>匠海は空っぽの心で長野県の辰野に初めて降り立った。そこは亡くなった父が撮った蛸の写真の撮影地だった。昔写真館を営んでいた父の影響を受けた匠海は、写真の道を進むことを選択し、東京の写真学科のある大学に入学した。自分と同じように風景写真が大好きな友達もでき、大学生活は充実していたが、学費と生活費を稼がねばならず、余裕のない精一杯の毎日を送っていた。そしてある出来事をきっかけに、大学を1年休学することを決める。辰野で出会った美しい風景や移住してきた人、辰野を離れない人などそれぞれの人が持つ事情や背景。多くの出会いに彼の心は癒され、前に進む力を蓄えていく。何者にもなれていない自分を受け入れ、成長していく青春小説。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
18																
書名	蛸と月の真ん中で															
著者等	著 河邊徹															
出版社	ポプラ社															
定価	1600円															
対象	高校生～															
発行	2021年10月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">19</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>7.5グラムの奇跡</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 砥上裕將</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,550</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年10月</td> </tr> </table>	19		書名	7.5グラムの奇跡	著者等	著 砥上裕將	出版社	講談社	定価	1,550	対象	高校生～	発行	2021年10月	<p>視能訓練士とは、眼科医療に関わる専門的な機器を使いこなし、医師の指示のもと検査や視機能に関する訓練を担当する専門技師。国家試験に合格し、視能訓練士の資格を得た野宮恭一は、人の良い院長に凄腕の先輩視能訓練士、マッショナ男性看護師やカメラが趣味の女性看護師とともに、街の小さな眼科医院である北見眼科医院で働きはじめる。心因性の視覚障害やカラーコンタクトによる障害、緑内障など、子どもからお年寄りまで様々な症状や背景を抱える人々と、野宮は不器用でも丁寧に一生懸命に向き合う。「見える」ことの大切さを実感し、成長する新米視能訓練士の一年を描いた心温まる連作短編集。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
19																
書名	7.5グラムの奇跡															
著者等	著 砥上裕將															
出版社	講談社															
定価	1,550															
対象	高校生～															
発行	2021年10月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">20</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>目の見えない白鳥さんとアートを見に行く</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 川内有緒</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>集英社インターナショナル</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2100円</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年9月</td> </tr> </table>	20		書名	目の見えない白鳥さんとアートを見に行く	著者等	著 川内有緒	出版社	集英社インターナショナル	定価	2100円	対象	高校生～	発行	2021年9月	<p>白鳥健二さんは51歳の全盲の美術鑑賞者。「白鳥さんと一緒に見ると楽しいよ」という友人の誘いにのり、著者は美術館へ向かった。半信半疑で会った白鳥さんは、言葉や会話を通じてアートを「見る」という人だった。気になった作品の前に立ち、何が見えるか、どんな風を感じるか、話しているとそれまで見えていなかったものまで見えてくる。日本各地を巡り、会話とともにアートを見るというユニークな旅の中で、誰かと一緒にアートをみる喜びや自覚していなかった偏見や先入観など、色どりに満ちた新しい世界と温かい人間の物語が紡がれる。美術館めぐりの追体験も楽しめるノンフィクション。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 707)</p>
20																
書名	目の見えない白鳥さんとアートを見に行く															
著者等	著 川内有緒															
出版社	集英社インターナショナル															
定価	2100円															
対象	高校生～															
発行	2021年9月															